

【事務事業評価シート】

事業No. 21

| | | | |
|--------|--|--|------|
| 評価対象年度 | 事務事業名 | | |
| R1年度 | 地方創生広域連携事業（里山インバウンドプロジェクト） ※交付金活用事業（H28年度～） | | 資料 1 |

1. 総合戦略上の位置づけ

| | | | |
|------|----------|--------------------------------|--|
| 基本目標 | 基本目標2に該当 | 新たなひとの流れを創出し、地域内へのひとの流れを促進させる。 | |
| 取組事項 | 2-イに該当 | 交流人口の増加 | |
| 施策 | 2-イ-①に該当 | 新たな魅力の創造と活用 | |

2. 事務事業概要（PLAN-DO）

| | | | | |
|----------------------|--|-------------|---------|-------------|
| 事業目的 | 市原市・君津市・大多喜町にまたがる房総丘陵一体を「世界に一番近いSATOYAMA」として観光地ブランド化する。 | | | |
| 対象者 | ※どのような方をターゲットにしているか、可能な限り詳細に記載。（年代や性別・職業・その他属性など） 他市町村住民、観光客等 | | | |
| 予算総額 財源内訳 (R1) | 予算総額 | 14,701,000円 | 県支出金 | |
| | 一般財源 | 7,433,000円 | 地方債 | |
| | 国庫支出金 | 7,268,000円 | その他特定財源 | |
| 事業経費 内訳 | 節名称等 | 執行額 | 節名称等 | 執行額 |
| | 委託料 その他委託 | 11,460,605円 | | |
| | 需用費 消耗品費 | 957,498円 | | |
| | | | | |
| | | | 合計 | 12,418,103円 |

| | |
|------------|--|
| 事業内容及び実施結果 | <p>※ どのような活動を行い、どのようなサービスを提供したのか。可能な限り詳細に記載。</p> <p>○きみつ×ジビエ商標登録 きみつジビエのブランド力を高め、市内の取扱い事業者が安心して使用・PRしていけるよう「きみつ×ジビエ」の文言とロゴマークをセットで商標登録を申請し、第29類、30類、43類（君津産ジビエやそれを使った各種加工品や総菜など）の区分で登録することができた。</p> <p>○きみつジビエフェアの開催（新型コロナウイルスの影響により中止） 3月の久留里新酒まつりと市原アートミックスおもてなし交流プログラム会場にて、君津産ジビエを取り扱う飲食店を募り、3日間にわたり広くPR・販売・試食等を行う予定だったが新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、イベントが中止となってしまった。</p> <p>○ジビエ推進業務委託 農作物への有害獣対策等で捕獲したイノシシやシカ等の獣肉処理加工施設への搬入量増加のため、捕獲従事者からの搬入にかかるファシリテートを行い、捕獲個体の利用促進を図った。 ファシリテート件数 571件、 止め刺し指導 18件</p> <p>○ドローン。GPSによる生態調査 生活被害を及ぼすサルの行動調査を目的とし、GPSを用いた行動域に係る調査及びドローンによる群れの状況調査を行った。 生態調査 7回</p> <p>○若手捕獲者育成 イノシシ、シカ等の農林作物等に対する有害鳥獣の捕獲を推進するため新たに若者の捕獲従事者等を育成することを目的に、有害鳥獣捕獲から解体処理及び狩猟にかかる活用知識及び技術を身に付けるための研修を実施した。 研修回数 9回（新型コロナウイルス感染症防止のため、1回中止した。）</p> <p>○里山サイクルイベントの開催（事業費 392,436円） 平成30年度に引き続き体験型観光として、令和2年3月21日に「ガイドと巡る里山サイクリングツアー2020」の開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により中止となった。 【イベント概要】 ・開催予定日3/21（中止） 参加費3,500円 定員30名（申込状況-初級23名、中級7名） 【イベントの見所】 ・コースを初級者と中級者の2種類用意したことで幅広い層が参加できるよう計画した。 ①いちばらアート×ミックスの会場に立ち寄る初心者や女性でも気軽に楽しめる初級者コース ②アップダウンが多く走り応えのある中級者コース ・初級者コースは市原市の協賛によりアート×ミックス会場への無料での立ち寄れるよう調整した。 ・どちらのコースも昼食ではジビエパーベキューと石神菜の花畑を楽しむことができるよう計画した。 ・3/21に商品化された菜久留トレイン(B.B.Base)を利用することで東京から久留里駅へ直接乗り入れができるよう調整した。</p> |
|------------|--|

3. 事務事業の分析 (CHECK)

| 重要業績評価指標 (KPI) | 指標 | | 現状値 (計画策定時) | | R1目標値 (総合戦略) | |
|-------------------|----|--|-------------------|--|--------------|---------|
| | 1 | 観光入込客数 | 2,859千人 (H26年) | | 3,474千人 | |
| | 2 | | | | | |
| | 3 | | | | | |
| 実績値 | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | H30年度 | R1年度 |
| | 1 | 2,946千人 | 3,050千人 | 2,960千人 | 2,614千人 | 3,060千人 |
| | 2 | | | | | |
| | 3 | | | | | |
| 特記事項 | | きみつジビエフェア、里山サイクリイベントが新型コロナウイルスの影響により中止となった。 | | | | |
| 成果・課題等 (R1) | | 令和元年度は9月10月の台風から年度末の新型コロナウイルス感染症などにより、予定していた事業展開ができなかったため、KPIである観光入込客数は増加しているものの、本事業の貢献度は低かったと判断し、D評価とした。しかしながら、中止となった里山サイクリイベントについては多くの問い合わせを頂き満員となるなど、ニーズのある取組であることが伺えた。今後は個々の取組を有機的に結びつけることで、より一層の効果を生み出せるよう取り組んでいく必要がある。 | | | | |
| 達成度 | | 判定 | D | A. 目標を達成した。 B. 概ね目標を達成した。 C. 目標を半分程度達成した。 D. 目標をあまり達成できなかった。 E. 目標を達成できなかった。 | | |
| 4年間の総括 (H28~R1) | | 市原市・大多喜町との広域連携を通じ、世界に一番近い「SA TOYAMA」ブランドの創出による広域観光産業づくりを進め、自立可能な「まち」づくりに繋げることを目的に様々な取組を行ってきた。ジビエやサイクリツーリズムの推進など、個々の事業については一定の成果が得られたものの、結果としてKPIの達成には至っていない状況にある。このため、個々の事業を有機的に結びつけるなど関係性を高め、初期の目的の達成に向けて取り組む必要がある。 | | | | |

4. 今後の方向性 (ACTION)

| 評価を踏まえた今後の改善内容 | 地方創生推進交付金活用事業は令和2年度で計画期間満了となる。個々の事業を有機的に結びつけるなど関係性を高め、より効果の高い展開とすることで交付金の期間後も地域で自走するよう進めたい。 | | | | |
|----------------------|---|------------------------------|---------|--|--|
| 予算総額 財源内訳 (R2) | 予算総額 | 13,397,000円 | 県支出金 | | |
| | 一般財源 | 6,698,000円 | 地方債 | | |
| | 国庫支出金 | 6,699,000円 | その他特定財源 | | |
| 今後の方向性 (R3) | 継続 | 「拡大」「継続」「改善」「縮小」「廃止」「統合」から選択 | | | |
| 今後の方向性 (理由) | ※ 「継続」以外の場合は必ず記入。 引き続き、地方創生推進交付金を活用するなど、広域連携の取組を継続していく。 | | | | |

5. 2次評価・外部評価・3次評価の意見

| 2次評価意見 | ・台風・新型コロナの影響あり |
|--------|---|
| 外部評価意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド戦略は非常に良いと思う。一方、こうしたブランド戦略ではトップセールスで取り組むとより効果が期待できるのではないか。 ・房総半島台風や新型コロナウイルス影響で結果は芳しくないが、方向性は間違っていないと思うので近隣市と連携を強化し政府のGO TOキャンペーンも活用して展開して頂きたい。 ・D評価：広域的な事業として興味深いところではあるが、事業のストーリー性が見出せない。ジビエ促進・生態調査・捕獲人材育成・サイクリング・観光といったことがどのように結びついているのか、イメージが湧かないので、焦点を合わせた指標も立てづらいついていくものとなっている。今少し、見直しを図るべきではないか。 |

6. 有効性

| 有効性 | 判定 | A | A. 有効な事業といえる。 B. 有効な事業とはいえない。 |
|-------|--|---|----------------------------------|
| 判定の理由 | 令和元年度は、台風、新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた事業展開ができなかったものの、里山サイクリイベントの予約状況は満員であったことから、ニーズのある取組であると考えられる。また、ジビエ等の地域資源を活用しながら、近隣市町との広域連携により「世界に一番近いSA TOYAMA」として観光地ブランド化を図ることは、本市の観光入込客数の増加に寄与するものと考えられるため。 | | |